

高砂ブランド商品開発事業企画提案書



高砂ブランド協会

◇ 地場産品から特産品への以降

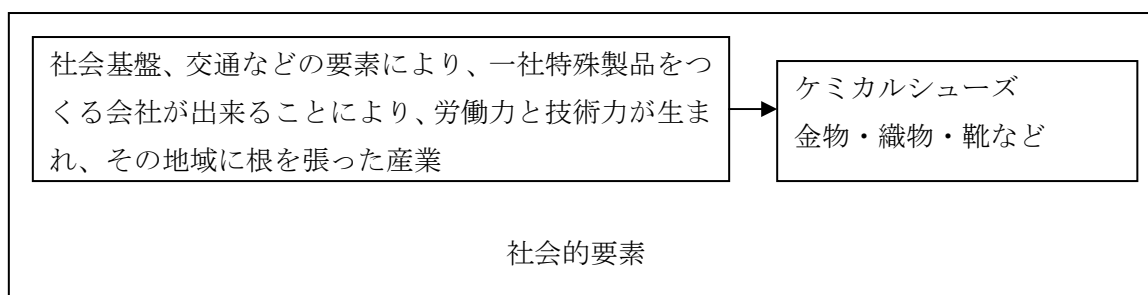
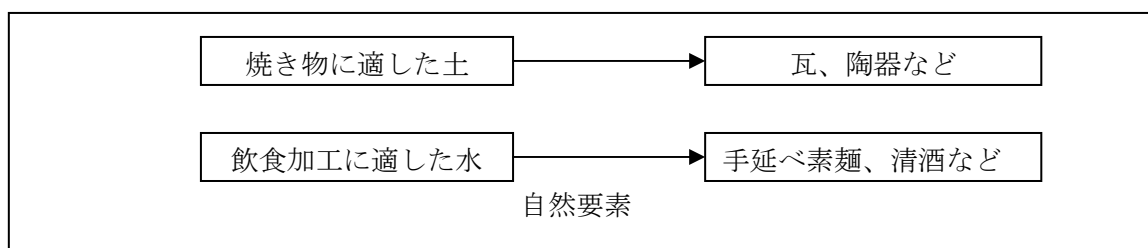
元来、その地域の地形、地質、気候、水質など自然要素からなる地場産品、県内では播州手延そうめん、灘の清酒、淡路瓦、丹波立杭焼などが有名なところではあります。

もう一方、社会的要素として地域における労働力、技術力、資本力、交通などによる地場産品があります。県内では長田のケミカルシューズ、豊岡の鞆、三木の金物などが有名なところではあります。

こういった有名な地場産品に共通して言えることは、地元と業者が一致して地場産品から特産品へ以降させるための趣向を実施してきたところにあります。

売り出すために各種イベントを実施したり、全国へのPRを実施したりすることにより単なる地場産品から特産品への以降を成し遂げたと思います。

私達は、商工会議所、観光協会、商店街連盟、青年会議所、それに一般市民といっしょに地場産品から特産品へ移行するための橋渡しと、新たな特産品の開発を進めるための手立てを進めていきたいと考えています。



◇ 高砂市の地場産品

高砂市の地場産品は兵庫県の地場産業(兵庫県産業労働部産業振興局工業振興課)によると「故繊維加工業」と「宝殿石(竜山石)」と記されている。

かつては、曾根、荒井に自然の風土を生かした塩田が有り、その加工技術は赤穂や四国に伝承されたほどである。

現在、認識されている地盤品に加え、高砂染めや尉と姥のブランドなど高砂にある数々の物をブランド商品化することを研究し広げていけるように考えていく。

- ◎ 今後実施する開発商品
- ◇ 既存の地場産品を使ったブランド開発

- 故繊維加工

故繊維は現在、企業数19社でほとんどがウエスなど工業関係に使用されている。

この、故繊維を利用したバッグなどを開発することにより、故繊維の新たな需要が生まれ、地場産品から特産品への移行がはかれるようにと考えています。

- 宝殿石

宝殿石は古くは仁徳天皇陵の石棺に使用されるなど、加工しやすい石材として使用されてきましたが、近年建築資材への使用も少なくなり、業者も7社となってきています。

現在、「石ころ Ri」において宝殿石を加工したコップや皿などを作り新たな魅力を発揮していますが、今後高砂市の特産品として、めずらしい石の加工品をもっと多くの人に広報していきます。

- 高砂染め

江戸時代、藍染の一種として高砂染めという独特のゼザインを持った染物がはやったそうですが、現在高砂染めは一部ハンカチとして販売されているのに留まっています。

たしかに加工に要する費用は高いものですが、ハンカチに留まらず、沖縄地方にある「かりゆしウェア」のように加工し、藍染のシャツ「藍(愛)シャツ」としての開発を考えています。また、傘の一部に高砂染めの独特のゼザインをほどこした「愛・藍かき」や「長寿財布」など高砂染めの独特のゼザインを登録しいろいろな商品の開発を考えていきたいと考えています。

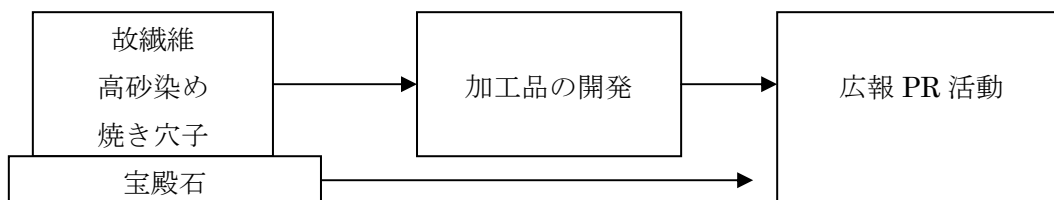
- あなご

高砂の特産品として、焼き穴子を市のホームページやパンフレットなどで紹介していますが、淡路や阪神地域に行けば焼き穴子を特産品としていることを知られていないのが現状です。

焼き穴子が普及しない原因のひとつは高価であるということもあるように思われます。当然、今まで通り、焼き穴子も特産品として広報していきますが。

穴子を使った加工品、「お茶付け」や「ちくわ」などを考え高砂ブランドの穴子を売り出すことにより、焼き穴子の特産品化と高砂穴子のブランド化を図っていきたいと考えています。

[既存の地場産品や物産品を新たに加工し、新しい商品としての付加価値を加える]

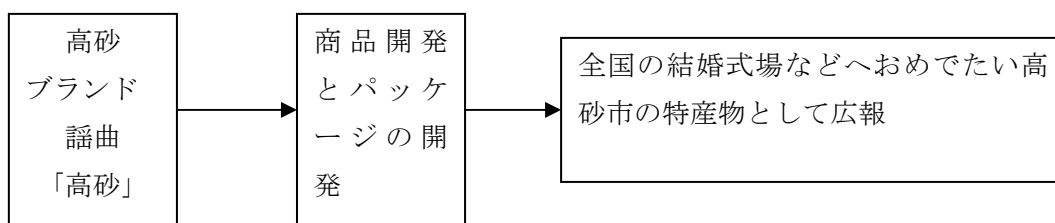


◇ 高砂ブランドを活用した特産品づくり

高砂といえば「高砂やこの浦ふねに帆をあげて・・・」と歌われる、有名な謡曲「高砂」の発祥の地です、謡曲「高砂」は聞いたことがあるが、兵庫県に「高砂市」が有る事は知らないという方は多くいます。

高砂市＝謡曲「高砂」の市を知らすために、尉と姥のグッズや商品のパッケージ等に尉と姥や謡曲高砂をプリントし全国の結婚式場等に対して、おめでたい「高砂市」の特産品グッズとして広報して広めていきたいと考えています。

[高砂という名前をブランドとして活用する方法(どんな商品にでも使用できる)]



◇ 高砂市をテーマにした各種作品の紹介

高砂市をテーマにした作品は数多くあります。そんな作品を高砂ブランドとして紹介し「高砂市」というブランド力を高めていきます。

謡曲高砂・・・謡曲 高砂小唄、高砂音頭、新高砂音頭、
高砂幻戯・・・小松左京(小説) 花筏・・・桂 枝雀ほか(落語)
落語・・・高砂や

その他多数の高砂関連作品を紹介していきます。

◇ 全国の高砂へ商品のPRを実施

高砂と名の付く場所、会社、商店など高砂ブランド商品を活用してもらうようPRを実施していきます。

全国には北海道から九州まで「高砂」という名の地名を持つ地域が62箇所あります。

また、高砂殿や高砂熱学工業、高砂酒造など高砂と言う名前を持った企業や商店は無数に有ります、私達は知り得る全ての場所や会社、商店に対して高砂ブランドをPRしていきます。

◇ ぼっくりんグッズの開発

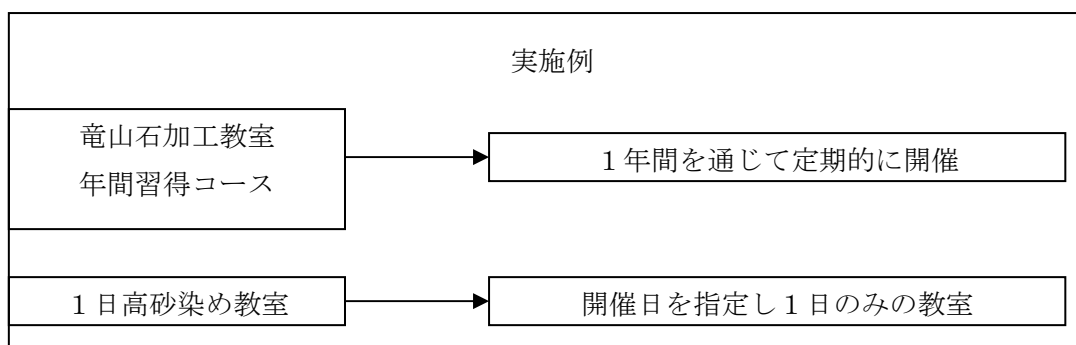
本年3月に誕生した、高砂市のキャラクターぼっくりんの関連グッズを開発し、幼児から小中高生を中心とした世代に対して高砂市のイメージアップを図っていきます。

[ストラップ、キーホルダー、ステッカー、シャープペン、バッチなど安価で子供でも気軽に購入出来、またお年寄りの人々へはお孫さんのお土産として購入できるようなグッズ]

◇ 既存の特産物加工技術教室の開催

竜山石の加工や高砂染めの染色技術など、今有る特産の加工技術を習ってもらうための教室を開催し、加工技術を多くの人に知り伝えてもらいたいと考えています。

教室の開催は年間を通じ定期的を実施し、年間コースで受講すれば何かひとつの作品を制作することが出来る教室と単発で実施し1回の受講で簡単な加工技術が学べる教室の開催を考えていきます。



◇ 市内アマチュア芸術家の作品紹介

市内のアマチュア芸術家の絵画や造詣作品、音楽、書道などの展示と販売を実施します。

アマチュア芸術家の作品の展示や販売を実施することにより、市内でがんばっているアマチュア芸術家の活動意欲を向上させ、高砂市内の文化向上に寄与します。

◇ 高砂歴史文化発掘並びに新ブランドの創造推進事業等

高砂市に伝わる民話や郷土料理また歴史を調査発掘し商品を開発すると共に、広く市民からのアイデアを柔軟に取り入れた新たなブランド開発推進を行ってまいります。